

## 令和元年度 第5回気仙沼市防災フォーラム(第33回防災文化講演会)を開催しました (2020/01/22)

テーマ：市民みんなで考える防災、気仙沼市  
場 所：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）  
URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/organization/kesenuma/kouenkai.html>

1月22日（水）に、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を会場として、気仙沼市と同教育委員会主催、当研究所と気仙沼ESD/RCE推進委員会の共催、気仙沼市立小・中学校安全担当主幹教諭研修・会議の皆様企画・運営で、令和元年度「第5回気仙沼市防災フォーラム」が開催されました。本フォーラムは、当研究所が気仙沼市で2ヶ月に1回程度開催している防災文化講演会の第33回目としての位置づけもあります。2017年から同フォーラムを継続的に開催し、5回目となる今回は、昨年につき「市民みんなで考える防災」をテーマに、市内の中高生を始め学校関係者や自主防災組織等地域住民約170名が参加しました。当研究所から邑本俊亮教授（人間・社会対応研究部門）および佐藤翔輔准教授（人間・社会対応研究部門）が参加しました。

はじめに地元中学生の語り部による遺構の見学が行われ、講演会に先立ち伝承館館長から施設の意義についてのお話を頂きました。そのあとに行われた講演会では、①階上中学校の生徒による研究と紙芝居を活用した実践発表と、気仙沼高校の生徒2名が課題研究の成果を発表しました。②基調講演では、当研究所の邑本俊亮教授から「災害に備えて『心理』を学ぶ」という演題で講演がありました。講演のあとに③「『命を守る』ためにいま私たちが出来ること」をテーマに参加者が6つのグループに分かれてワークショップが行われ、活発な意見交換の後、その中の2グループから発表がありました。最後に、当研究所の佐藤翔輔准教授が講評・コメントを行い、盛会のうちに終わりました。



邑本俊亮教授（基調講演）



発表会と会場の様子



ワークショップの様子



佐藤翔輔准教授（講評）

文責：塚本卓（気仙沼分室スタッフ）  
担当教員：佐藤翔輔（人間・社会対応研究部門）